

<特別寄稿>

次世代基盤技術研究所に 期待すること

近畿大学工学部産学官連携推進協力会
会 長 岡 田 章



「次世代基盤技術研究所報告」創刊号の発行を心からお祝い申し上げます。

わが国の経済は、昨年秋以降からの急激な円高の進行や海外経済の減速等によって、景気は足踏み状態となっております。

こうした状況を脱却し、地域が活性化するには、地域経済を支える中小企業が、その底上げを図るとともに活力を増すことが不可欠であります。そのためには、イノベーションによる新事業・新産業の創出が重要な課題であることは言うまでもありません。

一方、近年、大学の社会貢献が問われてきている時代となっており、地域に立地している大学においては、地域社会に密着した産学官の連携推進、社会連携の取り組みがますます重要になっているところです。

本協力会は、近畿大学工学部と地域産業界が密接に連携し、新技術の共同研究や技術情報の発信などの各種取り組みを通して、地域産業の発展に寄与することを目的に活動しており、本年で10年目を迎えることとなりました。

こうした中、昨年4月に次世代基盤技術研究所が開所されました。この研究所は、地域企業や研究機関等の連携のワンストップ窓口となる社会連携センターと自動車技術、建築環境、バイオ工学およびサービス工学の研究センターを有しており、次世代基盤技術に関する総合的な調査・研究を行うと伺っており、東広島地域における産学官連携に一層拍車をかけるものと期待をしているところです。

なかでも、東広島商工会議所では、次世代自動車に使われている新技術を、東広島地域における自動車関連企業の基盤技術として活用できるよう次世代自動車技術研究会を立ち上げ、開発プロジェクトを推進されておりますが、当研究所との連携もあり、今、新しい技術の芽が出はじめようとしています。

協力会としても、会員企業との共同研究の推進など、当研究所との連携を深め、活動の高度化に努めてまいりたいと思っております。

最後になりますが、今後とも東広島地域の有する強みや潜在力を活用しつつ、各種機能を存分に発揮していただき、トップレベルの研究所として発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。